

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

評価日:平成26年5月 15日

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	震災などにおけるマニュアルはありますが、日頃からの訓練、各ご利用者の状態に合わせた避難の方法を考えていきたい。	全職員が、落ち着いてスムーズに対応していける。	震災マニュアルも、細かく対応の仕方を火災、水害、地震分けて考える。 各ご利用者の状態に合わせた避難の方法を職員で意見を出し合い勉強会を行う。 月に1回の避難訓練に、職員内でも役割を変え行う。	12 か月	マニュアル作成し職員が見える所に掲示しています。 ご自分で動けない方の避難方法を布団で行ったりしました。 8月まで継続します。
2	44	排便を促す事を、服薬に頼り自然排便が減ってきています。	自然排便が出るように、	各ご利用者の状態に合わせた活動内容を考え、生活の中から腹部(腹筋)を動かしてもらったり、腹部マッサージ、食事の中にも植物繊維を取り入れながら工夫を行ってみる。	12 か月	朝一に冷たい飲み物、のむヨーグルトなど飲まれたりして自然排便がある事もありますが、まだまだ服薬に頼っている事がありません。 8月まで継続しています。
3	52	会話の中で季節が分からない方など増えていっている。	冬場や夏場など気候が悪いときも室内活動の中にも目で見えて四季感を感じていただけるようにする。	共同スペース(フロア、玄関、トイレなど)に季節感のある物を飾ってみたり、ご利用者と共に作りながら、会話の中で季節に合った昔ながらの行事の話などを行う。	12 か月	一緒に季節の飾りを作り、会話が出たり方言、昔の言葉が出たり、ハサミを持たれ何枚か重ねて切られる方もいらっしゃいます。
4					12 か月	
5					12 か月	

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

評価日:平成26年 5月15日

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	月に1度避難訓練をしているが、シフトの都合で訓練に参加出来ていない職員がいる。また訓練に参加している職員も、しっかりと手順など把握出来ていない現状がある。	職員全員が訓練ではあるが、危機感を持ち手順の把握、迅速な避難が出来るようになる。	職員全員が均等に参加出来る様、シフトの調整を管理者に前もって依頼する。 終了後反省会を行い、質問や問題点があれば、明確にし、次回に活かしていく。	12 か月	以前は声が出なかったり、手順に戸惑う職員が、回数を重ねると改善がみられる事からも、定期的に訓練することの意味はあると思うので今後も、月に1度の訓練を継続していく。
2	54 55	高齢化と認知度の低下が見られるご利用者に対して、出来る事もあるのに、手を出してしまう場面が多くみられる。	個々のご利用者が、ご自分の力が発揮している様な場面を多く作っていく。	個々のご利用者の状態をしっかりと把握し、職員同士で申し送りなどで情報の共有をする。 ご自分で、選択できる場面を意識し提案していく。	12 か月	声かけの際「～しましょう。」から「～ませんか？」に変わってきたが、まだ、してしまうケアがある。転倒のリスクを避けるため、出来ることも手伝う例もあった。常に意識していく必要がある。
3					か月	
4					か月	
5					か月	